

◆大雨・台風時の避難の心得

◇いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話あっておきましょう。また災害発生のおそれがある場合には情報入手して**早めの避難**を心がけましょう。



- 自分自身でこまめな情報収集を心がける
- 状況によりすばやく避難しましょう

町から避難情報が発令されていなくても、雨の状況等から判断し自主的に避難しましょう。

■浸水時には長靴は厳禁

避難の際には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。浸水する前に、動きやすい服装で避難しましょう。

■自動車での避難は危険

自動車は約 30 cm の浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

■家族への連絡

外出中の家族には、どこへ避難するといった連絡をしておきましょう。

■近所の人と助け合いながら避難しましょう

単独での行動は避け、近所の人と決められた場所に避難しましょう。また高齢者の方々の避難支援にも協力しましょう。

■安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや土砂災害等の危険場所を避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

■感染症の予防

マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保に心がけましょう。

※避難場所に着いたら、担当職員の指示に従い行動しましょう。

◆水平避難と垂直避難

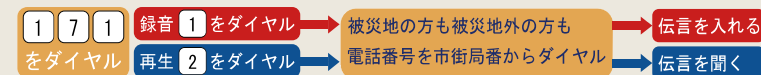


災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動は避けなければなりません。そのような場合は、高齢者等避難や避難指示が発令されていても、避難所などに移動することはせず近くの頑丈な建物や自宅の2階以上の安全な場所で待機（垂直避難・自宅待機）して、安全を確保するという判断も必要です。

◆災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 1 7 1

◇電話を用いて安否情報（伝言）の録音・再生を行えます。



災害用伝言板（Web171） URL: <https://www.web171.jp/>

◇スマートフォン・携帯電話・PC から災害伝言（Web171）にアクセスすることでテキストによる安否確認（伝言）の登録・確認を行えます。

※携帯各社から「災害伝言サービス」が提供されます。利用方法については事前に HP にて確認しておきましょう。



Android・ios

◇マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨や土砂災害の時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための避難ツールの一つです。

◆マイ・タイムラインを作ろう

時間	事前に確認しておこう（記入）	想定	気象情報・警戒レベル	我が家がとるべき行動・備え	行動・備え（事例）
平常時 平常時に備えておく	●自宅の状況確認 □土砂災害警戒区域 □土砂災害特別警戒区域	3 日以前 大雨発生の可能性	[台風発生] ＜＜ 台風の進路予想が天気予報で伝えられる ＞＞ ◆警戒レベル 1 ・早期注意情報（警報級の可能性）	○ ○ ○ ○	○テレビの天気予報に注意 ○1 週間分の薬を取りに行く ○家族の予定を確認 ○タイムラインを確認 ○非常時持ち出し品の確認
	●避難する場所 □避難場所 □親戚・知人宅 □その他 実際に避難する場所：_____	24 時間前 雨が降り始める	◆警戒レベル 2 ・大雨・洪水注意報 ・高潮注意報 ＜＜ 台風が近づいて雨や風が徐々に強くなる ＞＞	○ ○ ○ ○ ○ ○	○テレビやインターネット・メールで情報を再度確認 ○町の防災無線で情報確認 ○家族の予定を確認 ○ハザードマップにて避難場所、避難経路を確認 ○携帯電話の充電
	●避難のときに支援してくれる人 名前：_____ 電話番号：_____	12 時間前 ～ 6 時間前 雨が強さを増す	◆警戒レベル 3 高齢者等避難 ・大雨・洪水警報 ・警報に切替える可能性のある高潮注意報	○危険な場所から高齢者らは避難 ○ ○ ○ ○	○住んでいる場所の雨量や台風の状況を確認 ○避難に時間がかかる人は避難開始 ○避難しやすい服装に着替える ○避難開始 ○近隣の住民を誘う ○外へ避難できない場合は、屋内の安全な場所に避難する
	●避難のときに支援する人 名前：_____ 電話番号：_____	3 時間前 大雨となる	◆警戒レベル 4 避難指示 ・土砂災害警戒情報 ・高潮特別警報 ・高潮警報 ・記録的短時間大雨情報	○危険な場所から全員避難 ○ ○ ○ ○ ○	
	●避難するタイミング（警戒レベル） □レベル 2 □レベル 3 □レベル 4	0 時間 災害発生	◆警戒レベル 5 緊急安全確保 ・大雨特別警報	○命の危険直ちに安全確保 ○ ○	
	●非常持ち出し品 □飲料水 □非常食 □貴重品（現金・通帳・印鑑・保険証等） □常備薬 □お薬手帳 □衣類（下着を含む） □懐中電灯 □携帯ラジオ □携帯電話（充電器含む） □マスク □ビニール袋 □毛布 □タオル □雨具 □簡易トイレ □救急セット □紙オムツ □生理用品 □除菌アルコール □タオル □歯ブラシ等の口腔ケア用品 □乳幼児に必要な物 □その他生活に欠かせないもの				

※家族と情報を共有し相談しながら記入すると防災意識の向上につながります。（このページを拡大印刷してご利用下さい）
※想定はあくまで参考です。状況により変化します。また気象情報や警戒レベル等が発表されるタイミングも状況により変化します。
※マイ・タイムラインは、あくまで参考です。状況に応じタイムラインよりも早く行動を起こすことも大切です。

★マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」の紹介

・逃げキッドとはマイ・タイムラインをやるお手伝いをするための入門的ツール
URL: http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html



Android・ios

小豆島町 土砂災害ハザードマップ



◆土砂災害ハザードマップとは

土砂災害の発生が予想される場合や土砂災害が発生した場合に、町民の方々が安全に避難する際に参考としていただくためのマップです。

集中豪雨や台風により、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）や土石流、地すべりが発生し被害を受けるおそれのある区域を土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域として示しています。日頃の備えとして、身の回りの危険箇所、避難場所、避難ルートを知っておくことが重要です。

家族の話し合いなどの機会に「土砂災害から身を守るためのツール。。。」として活用してください。

◆ハザードマップの使い方

①自宅の位置を確認する

自宅の位置に印をつけましょう。



④安全な避難経路を考える

自宅から最も近い避難場所（③で決めた場所）までの避難経路を考えて書き込んでおきましょう。その際できるだけ「土砂災害等の危険場所」は避けて設定しましょう。

②土砂災害警戒区域などの危険な場所を確認する

地図上で土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域について色分け表示しています。自宅周辺でこれらの危険な場所を確認しましょう。

⑤自分たちの目で避難経路を確認する

設定した避難経路を実際に歩いてみて、安全性や注意点など確認しておきましょう。



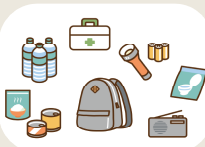
③避難する場所を確認する

自宅から最も近い指定避難場所の「位置」と「名前」を2カ所以上確認しておきましょう。



⑥非常時の持ち出し品を準備しておく

非常時の持ち出し品チェックリストを参考に、避難する時に必要な物を予め準備しておきましょう。



◆土砂災害の主な前兆現象・・・

◇こんな現象を見たら・・・聞いたら

土砂災害の危険が迫っています！できる限り早く周りの人と安全な場所に避難し、町役場など最寄りの公共機関へ連絡をお願いします。また、前兆もなく土砂災害が発生することもあります。

■土 石 流



・山全体がうなっているような音がしたり異常な匂い等が発生したりする。



・川の水が濁り、倒れた木が流れたりする。



・雨が降り続けているのに川の水が減る。

■地 す べ り



・斜面からの湧き水が増える。



・池の水が濁ったり急に水が増えたり減ったりする。



・地面にひびわれや段差ができる。

■急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）



・がけから急に水が湧き出る。また急に湧き水が噴き出したり急に止まったりする。



・がけから小石がパラパラと落ちてくる。

「資料提供 NPO 法人土砂災害防止広報センター」

令和 3 年 3 月改訂
発行：小豆島町 総務課危機管理室